

はばたけ!

帯広市立大空中学校だより

星と森の大空へ

No.20 令和元年12月20日発行

自分が変わるとということ

～ 学校教育目標 ～

北の文化を拓く

「明るく健康な心身と個性

豊かな英知を育む」

12月も後半。2学期の登校日はあと3日となりました。今年を振り返り、生徒の皆さんはこの1年でどれだけ自分自身が成長したと感じているでしょう。

私の同級生に、中学校3年間で30センチも身長がのびた人がいました。私は中学入学時に、既に170センチあって、もう伸びきってしまったのか、中学校3年間で3センチくらいしか伸びませんでした。その友達かというと、私とほぼ同じくらいの身長で卒業したのを憶えています。

小学校から中学校もそうなのですが、中学、高校とその人その人で異なるものの、心もからだも一番大きくなるといわれているのがこの時期、成長期です。

先日、廊下でたまたま自分と横並びで歩行する男子生徒がいて、ふと彼の足元に目をやると、なんともまあ、大きな上靴サイズ。28センチ以上はあろうかというような大きさ。改めて、靴箱に並んでいる靴を見ても、その大きさにビックリです。健康で、体躯(たいく)がしっかりとして、たくましくなっていく、立派になっていくことは、本当にうれしいことです。どの子も時期の違いこそあれ、成長期を迎え、その成長を感じます。

さて、その一方、心の成長はどうでしょうか。からだと一緒に心も大きく育ったでしょうか。

4月からの年月、勉強、部活動、友達、家族など、様々な取組とかかわりの中で、人として

「苦しいことやつらいことに負けない強い心を持つこと」

「友だちを大切にできる優しい心や思いやりの心を持つこと」

「自分のよさや友だちのよさを見つけ、認め合う心を持つこと」



12月17日参観日から。
卒業式の歌練習も始まりました。

校長 黒島 俊一



12月17日参観日から。
道徳では、熱心な意見交換なされました。

こうしたことが知らず知らずに心がけられていけば、人としてとても素敵なことです。ふだん皆さんの頑張る姿を見ていると、私はこうした心の成長の跡が随所と感じます。友達と笑顔で過ごす様子、掃除での様子、部活動でのひたむきな様子、分かれようとして真剣に、集中して授業に取り組む様子、素敵な笑顔で、元気よくあいさつをしてくれる子など、たくさんのおよびを感じます。これからも友だちのよさをたくさん見つけつつ、何よりも自分のよさを感じ、自分が好きで、よりよい自分を目指して、楽しい学校生活を送ってほしいのです。

新しい年の新しい目標に向けて、4月からの自分をしっかりとふりかえってほしいと思います。

受験モードの高まり みんながんばっています



3年生の教室前に、高校合格祈願がまつられています。(写真左上)

面接練習も始まり、学校では一気に受験モードが高まってきています。

高校入試は当日の点数はもちろんですが、日頃の学習の積み上げが重要です。ですから日常の授業態度はもちろん、定期テストの結果や提出物等の取組状況などの評価も含めて、総合的に判定されるものです。

3年生のみなさんには、まだまだ先が長い取組になりますが、人生の最初の大きな山場となります。「笑顔の15の春」をみんなで迎えるために、本人、家庭、学校が一体となって、がんばっていきましょう。

日頃の学習といえば、家庭学習サポートとして、本校では北海道教育委員より、退職者人材活用事業の一環で、「青柳先生」の配置をいただき、主に放課後の家庭学習の支援として、理科室で行っています。(写真左下)冬場になり、利用する生徒も大変増えています。子どものニーズによっては、タブレットを使った学習も進められています。

確かな学力の定着と向上は、日常の授業の改善と家庭学習の充実と言われています。中学校ともなるとつつい本人任せのところもあるかも知れませんが、学期末を迎えるこの時期、お子さんの学習状況把握のためにも、教科書、ノート、「飛翔ノート」などご覧いただければいかがでしょうか。日頃のそうした気にかけるかかわりが、15の春の笑顔につながります。



ホッケーリンク造成が始まっています



写真左 今年から導入された散水車。本格的な出番を待っています。

写真上 土の出ているところを、少ない雪をかき集めて埋める作業

雪が少なく、年々、学校でつくるリンク造成が難しく、オープンが遅くにつれ込んできている中、今年も本校のリンク造成委員会による造成作業が始まりました。

今後、極寒の中、日中、夜間と水まきと補修をくり返していきます。

オープンのめどが立ちましたら、改めてお知らせします

お子さんのことにかかわる悩み等については、学級担任に相談することに加えて、副担任や教科担任、また養護教諭や管理職なども対応いたします。また、専門性の高い家庭訪問相談員(今出相談員)やスクールカウンセラー(若菜カウンセラー)が定期的に来校していますので、相談の希望がありましたら、学校(48-5089)へ連絡下さい。このたび北海道教育委員会より、以下の通り、相談窓口のお知らせがありました。

子ども相談支援センター 相談窓口

いじめや不登校、体罰などの学校教育に関する悩み、子育て・しつけなど家庭教育に関する悩みなど相談してください。

●電話相談

0120-3882-56(無料、毎日24時間対応)

●メール相談

doken-sodan@hokkaido-c.ed.jp ※急ぎの場合は電話相談を利用してください

●来所相談

(10~16時、土日・祝日、年末年始はお休みです。) 子ども相談支援センター 札幌市中央区北3条西7丁目道庁別館8階